

■アストロデザイン通信 (monthly) ★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

第3号 2012年6月6日配信

発行：アストロデザイン株式会社 事業支援部

<http://www.astrodesign.co.jp/japanese>

★☆☆

本メールは、過去にアストロデザインが主催・出展するセミナーやイベントにご来場いただいた方、名刺交換させていただいた方および、本メールサービスに登録申込みをしていただいた方へ配信しております。

※配信解除や登録内容の変更をご希望のお客様は、本メールの下部をご覧ください。

早いもので、今年も半分が過ぎようとしています、衣替えはもうお済みでしょうか？
夏まではもう少しといったところです。
今月は、毎週、各地で展示会を開催・出展しております、頑張りましょう。

◆————◇————◇————◆
目次

- ◆————◇————◇————◆
- 【ニュース】 … ラウドネス関連機器 3製品を発売
 - 【トピックス】 … MHL とは
 - 【製品紹介】 … MHL 機器開発の決定版！MHL プロトコルアナライザ VA-1836 の紹介
 - 【イベント情報】 … プライベートショー、デジタルサイネージ展、JPCA
東北映像機器フェスティバル、九州放送機器展に出展
 - 【編集後記】

◆————◇————◇————◆
【ニュース】 ラウドネス関連機器 3製品を発売

◆————◇————◇————◆
○ラウドネスレベルをターゲットレベルにするコントロール装置を発売
→ <http://www.astrodesign.co.jp/japanese/news/news-20120528-1390.html>

○ラウドネスメータ対応、多彩な表示機能を備えたオーディオモニタを発売
→ <http://www.astrodesign.co.jp/japanese/news/news-20120528-1393.html>

○EDIUS 6用ラウドネス解析プラグインソフトウェアを発売
→ <http://www.astrodesign.co.jp/japanese/news/news-20120528-1395.html>

◆————◇————◇————◆
【トピックス】 MHL とは？

◆————◇————◇————◆
MHL とは Mobile

High-definition

Link の略で、単純に言ってしまうと、その名のとおり「モバイルで HD 映像が伝送できる」インターフェース規格です。スマートフォンやケータイ電話と、テレビやディスプレイをこの MHL でつなげば、スマートフォンの動画やケータイの画面をフルハイビジョンの大きなスクリーンで見ることができるようになります。

そもそも MHL は、SiliconImage 社が開発した携帯機器向けの高速度映像伝送用のインターフェース規格です。2010 年にはノキアやサムスンなどが入り規格化コンソーシアムが設立され、2011 年から製品への搭載が始まり、現在、多くの機器で導入が進んでいます。

MHL の特長は以下の通りです。

- ・ 1080p 非圧縮 HD 映像と 7.1ch デジタルオーディオを伝送
- ・ レイテンシーが無くゲームのプレイにも最適
- ・ テレビのリモコンでモバイル側の再生制御ができる
- ・ テレビでモバイルの充電ができる
- ・ 5 本の信号線
- ・ 既存のコネクターを流用できる
- ・ HDCP によるコンテンツ保護が利用できる

上述のようにモバイルに既にあるマイクロ USB をそのまま流用し、MHL ケーブルでテレビなどに接続すれば、モバイル側の HD 映像とデジタルオーディオをテレビの大画面で楽しむことができます。またテレビ側からモバイルに電源を供給できるのもすごく便利です。

使い方としては、スマートフォンの HD ストリーミングビデオを大画面モニターで見たり、大画面でモバイルのゲームをプレイしたり、あるいは仕事のプレゼンをモバイルに仕込んでおいて出先のプロジェクターで映し出したりなど、様々です。世の中、どんどん便利になって来ますね。

本メルマガでもご紹介しているように、当社では MHL に対応した当社の製品としては、今回ご紹介した MHL 機器の開発者向け MHL プロトコルアナライザ「VA-1836」があります。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
【製品紹介】MHL 機器開発の決定版！！

MHL プロトコルアナライザ VA-1836 の紹介

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
MHL 送信機を開発する上で必要なプロトコル部分を確認できるリアルタイム MHL プロトコルアナライザです。

12 インチ LCD パネルと内蔵スピーカで、MHL のモニター映像や音声をすばやく、簡単に確認し、プロトコル、ビデオタイミングの解析が行えます。

EDID 編集機能により、様々なターゲットレシーバー（モニター）を仮想、エミュレーションします。さらに、MHL 出力端子を通して、CBUS ラインモニターとしても使用や、ジェネレート機能により、SINK 機器の受信確認を行うことができます。

<3 大モード>

◆ レシーバーモード (Sink Emulate)

TV を想定した動作とプロトコルの確認

MHL 各プロトコルおよびビデオタイミングの解析ができます。

EDID のコピー・編集で TV 等シンク機器のエミュレートできます。

◆ スルーモード (Cable Emulate)

ケーブルを想定した動作とプロトコルの確認できます。

モバイル端末とシンク機器間の C BUS のダイレクトな通信を確認し、ログを取ることが可能

◆ ジェネレートモード (Source Emulate)

スマートフォンを想定した動作とプロトコルの確認

MHL 信号発生器として、規格に対応した信号を出力します。

<主な機能>

■ANALYZE (計測) 機能

MHL のビデオタイミング計測、MHL の各 Packet 内容を計測、MHL 規格値との相違チェックをします。

■レシーバー (モニター) 機能

MHL 入力を受信可能です。

■スルー機能

入出力をスルーさせることにより、SOURCE 機器と SINK 機器の、CBUS のダイレクトなやり取りを確認します。

■エミュレート機能

EDID 性能情報を他の様々なモニターの性能に変更することができます。

■映像・音声モニタリング機能

12 インチ装置モニターで、8Bit、10Bit、12Bit それぞれの MHL の映像を、内蔵スピーカーで、リニア PCM の音声を簡単に確認にモニターします。

■プログラム機能

モニタを仮想する際に使用するデータを、プログラムで管理することができます。プログラムを呼び出すだけで、簡単に様々なモニターの性能に変更することができます。多くのプログラムのうち、使用するものだけをピックアップしておくグループ機能もあります。

■メモリ保存機能

ANALYZE (計測) データ、プログラム、装置設定などを USB フラッシュメモリに保存することができます。

■ログトリガ機能

トリガを設定して ANALYZE データを取り込むことができ、ラインモニター機能 C BUS 上でのコマンドの送受信が確認できます。

★—————☆

○DisplayPort プロトコルアナライザ VA-1835 ★同時発売

- ・ フロントの液晶モニターと内蔵スピーカーで映像と音声を簡単に確認可能
- ・ Video Timing、Packet、AUX モニタリング等、Source 機器とのプロトコルチェックが可能
- ・ EDID・DPCD の書き換え可能。様々な Sink 機器のエミュレートが可能
- ・ ビデオタイミング、Secondary Data Packet、AUX CH 等の Log を USB メモリに保存可能
- ・ ジェネレートモード搭載。Source 機器としても使用可能

→ <http://www.astrodesign.co.jp/japanese/product/va-1835>

★—————☆

○HDMI300MHz プロトコルアナライザ VA-1838 ★7月発売

- ・ HDMI 300MHz 対応。4K 30p や 3D の FramePacking 120p にも対応
- ・ HDCP/CEC/EDID の計測も可能
- ・ VA-1831 から引き継いだ優れた操作性
- ・ ジェネレートモードで HDMI 4K の信号発生器としても使用可能



【製品に関するお問い合わせ先】

T&M カンパニー営業 TEL:03-5734-6320 FAX:03-5734-6104

大阪営業所 TEL:06-6328-8550 FAX:06-6328-5058

VA-1836 について詳しくはこちら :

→ <http://www.astrodesign.co.jp/japanese/product/va-1836>



【イベント情報】プライベートショー、デジタルサイネージ展、JPCA
東北映像機器フェスティバル、九州放送機器展に出展



○ PrivateShow2012

シャープ株式会社様のご協力により、スーパーハイビジョン 85 インチディスプレイを当社のレコーダーで「スペースシャトル ラストフライト」を上映します。

特に関西地区での一般公開は、初めてですので必見です。

「アストロデザインプライベートショー in 東京」

会場：本社（大田区雪谷）

会期：6月7日(木)~8(金) 10:00~17:30

「アストロデザインプライベートショー in 大阪」

会場：天満研修センター

会期：6月28日(木)~29(金) 10:00~17:30

→ <http://www.astrodesign.co.jp/japanese/event/event-20120314-1262.html>

○ DSJ 2012 (デジタルサイネージジャパン)に出展します

会場：幕張メッセ

会期：6月13日(水)~15(金)

→ <http://www.astrodesign.co.jp/japanese/event/event-20120314-1259.html>

○ JPCA Show 2012 (国際電子回路産業展)に出展します

会場：東京ビックサイト

会期：6月13日(水)~15(金)

→ <http://www.astrodesign.co.jp/japanese/event/event-20120314-1257.html>

○東北映像機器フェスティバル 2012

会場：仙台サンプラザホール

会期：6月21日(木)

→ <http://www.astrodesign.co.jp/japanese/event/event-20120313-1283.html>

○九州放送機器展 2012

会場：マリンメッセ福岡

会期：7月4日(木)~5(木)

→ <http://www.astrodesign.co.jp/japanese/event/event-20120311-1266.html>

◆ ◇ ————— ◇ ◆

【編集後記】

◆ ◇ ————— ◇ ◆

このまえ外国へ出かけたとき、暇ができたので土地の美術館に入ってみました。すると、お客さんたちが展示室の中でけっこう普通にスナップ写真を撮っているんですね。日本では、ほとんどの場所が撮影禁止になっていると思うのですが、海外はおおらかなところが多いですね。特に、古典の作品であれば著作権もとうに切れてしまっているので、私たちの共有の財産としてどんどん解放する方向に進んでくれるといいな、と、海外の美術館をぶらつきながら思いました。

ところで、Google がこんなプロジェクトをやっている膨大な量の作品が無料で見られます。アート好きな人にお勧めです。

<http://www.googlearproject.com/>

Twitter : <https://twitter.com/AstrodesignInc>

◆新規登録・登録内容の変更や配信停止はこちらからお願いします。

<http://www.astrodesign.co.jp/japanese/astro/maimag/index.html>

※新規登録をご希望の方がいらっしゃいましたら是非ご紹介下さい。

◆その他ご意見・ご感想、ご興味のあるテーマ、取り上げて欲しいテーマ等

ございましたら下記編集部までお気軽にご連絡下さい。

info_mag@astrodesign.co.jp

※このメールは送信専用のメールアドレスから配信しています。

このメールアドレスに返信いただいても、お答えできませんのでご了承ください。

本メールの内容の無断複製、転載は禁じます。

本メールマガジンの著作権はアストロデザイン株式会社に帰属します。

Copyright 2012 ASTRODESIGN, Inc. All rights reserved.
